



がんばる Farmer 応援記

Vol.6

このコーナーは、町内でがんばっているまたはがんばろうと考えている農家を支援する農業委員の活動を紹介します。

地区担当農業委員

小出政雄委員

新規就農者 大和須

金子洋次さん (35歳)

今回は、平成24年に大和須で就農し、順調に経営規模を拡大する金子さんをご紹介します。

▼初めに、金子さんの営農状況を教えてください。

【金子さん】震災の前年に東京から移住し、妻と一緒に農業を行っています。営農当初から少量多品種の季節野菜を栽培しています。現在、60アールの畑で農薬や化学肥料を使わずに年間50から60種類の野菜を栽培しています。

▼どのようなきっかけで就農したのでしょうか。

【金子さん】大量生産、大量消費の業界で働いていましたが、自分でものを作る農業はやりがいのあるかつこい職業だと思いい、農業の世界に飛び込みました。那須町には両親の家があり、観光地でもあることから、農業の可能性を感じ就農に至りました。

▼野菜の販路を教えてください。

【金子さん】ルッコラ、ピーツなどの西洋野菜を栽培し、那須高原の

ホテル、ペンション、レストランに直接販売しています。その際にシェフと情報交換し、栽培作物について検討しています。

また、道の駅東山道伊王野の直売所、黒磯駅前のカフェ、那須塩原市内の自然食レストラン、那須高原の農家の直売所でも野菜を販売しています。5月から11月までの毎月第2、第4土曜日に大日向地区で開催されるマルシェにも参加していますが、マルシェに参加することにより、情報交換や顧客開拓につながり、人の輪が広がりました。

▼就農に当たって苦労されたことは何でしょうか。

【金子さん】農地を耕して野菜を作れば農家になると考えていましたが、農家になる仕組みや農家が受けられる制度などが分かりませんでした。そのようなことが一目で分かる簡単なパンフレットが欲しいです。また、農地を借りるのが一番難しいので、貸したい農地の所在や貸借条件が一覧になっていて、就農希望者が見ることができるといいです。就農希望者の本気度を図るためにも、農地を見せることが大切だと思います。私は那須に住宅がありましたが、住宅情報

や中古の農機具情報も欲しいですね。

▼小出委員には金子さんの経営規模拡大の際に協力いただきましたが、金子さんに一言お願いします。

【小出委員】金子さんも奥さんもやる気十分なので、今後は地域の中心として斬新な農業でこの地域を引っ張ってほしいですね。地域特産品の詰合せをネット販売するなど、新たな仕組みを考えて地域の農産物の販路拡大に協力してほしいです。

▼今後の抱負を聞かせてください。

【金子さん】まずは自分の農業の経営安定と規模拡大を目指します。そして、伊王野で農業をしたい人と地域をつなぐ役目したいと考えています。その土地で農業をやっていくためには、その土地に根差して、地域に受け込み、地域の方々と仲良くしていくことが必要です。私が就農するに当たって感じたことや、伝えたいことを発信したいです。

小出委員からお話しのあったネット販売については、私一人ではできないことなので、新たな仕組みを考えて行政や地域の方と連携して実現できたらいいですね